

川奈小のあゆみ



伊東市立川奈小学校

令和3年3月21日



目 次

P2 閉校式次第

P3 川奈小学校校歌

P5 閉校に寄せて

伊東市長・伊東市教育長

川奈区長・P T A会長・学校長

元P T A会長

元学校長

卒業生の皆様

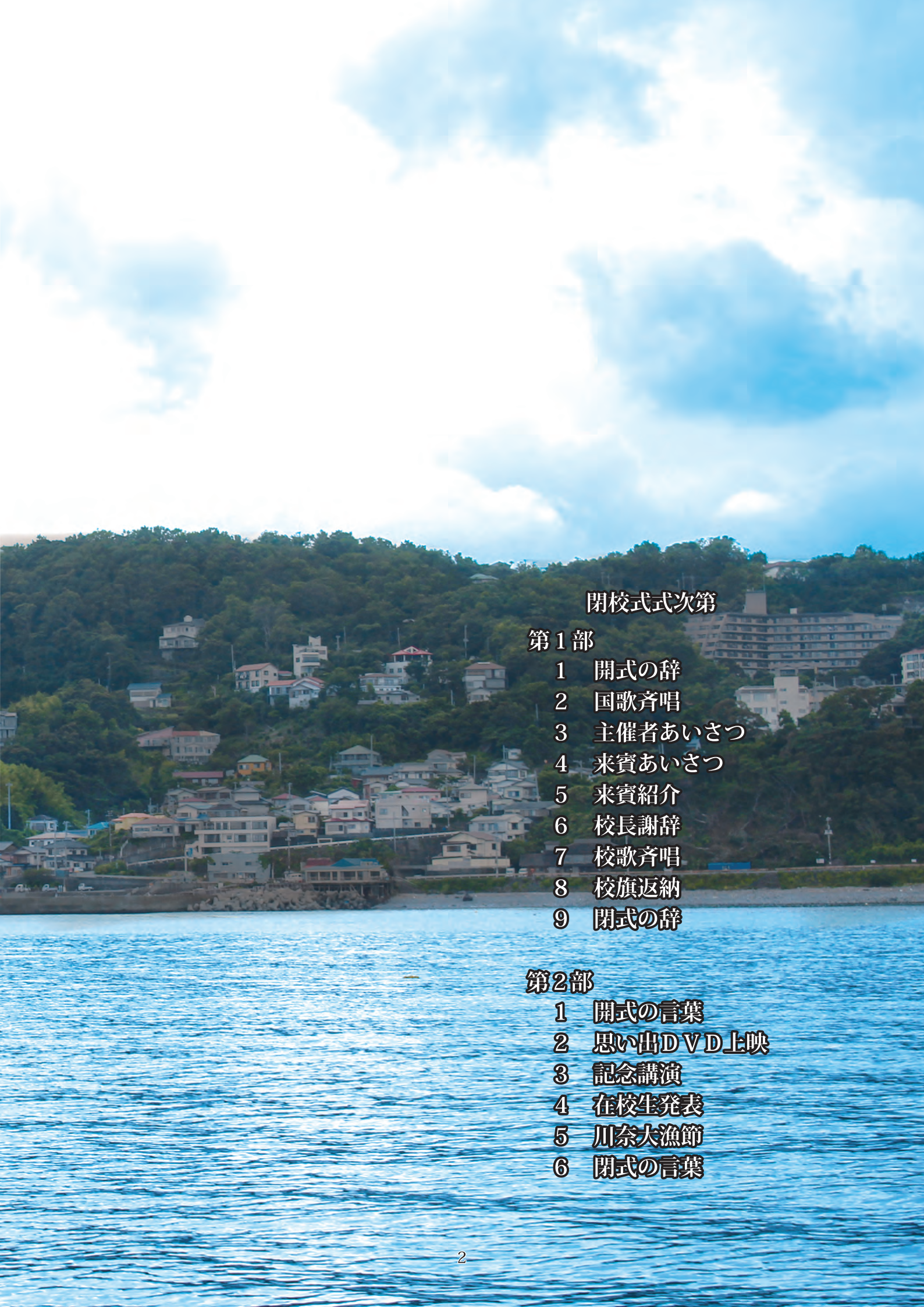
P13 川奈小学校147年の歩み

P17 思い出の行事

P21 最終年度児童のメッセージ

P23 最後のいるかの仲よし学校

閉校式実行委員会メンバー



閉校式次第

第1部

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 主催者あいさつ
- 4 来賓あいさつ
- 5 来賓紹介
- 6 校長謝辞
- 7 校歌斉唱
- 8 校旗返納
- 9 閉式の辞

第2部

- 1 開式の言葉
- 2 思い出DVD上映
- 3 記念講演
- 4 在校生発表
- 5 川奈大漁節
- 6 閉式の言葉



川奈小学校校歌

作詞 大木 惇夫
作曲 小谷 肇
編曲 小谷 肇

一

みどりは 映える 小室山
みかんの花も かぐわしく
清く 明るく おちついて
みんな なかよく 学ぼうよ
たのしい 学校 川奈よ 川奈

二

歴史も古い 丘の上
黄金の実り 穫りいれて
清く 明るく 根気よく
みんな なかよく 励もうよ
親しい 友達 川奈よ 川奈

三

潮鳴り響く 相模湾
港に海の 幸受けて
清く 明るく きまりよく
望みの 明日に 備えよう
うれしい ふるさと 川奈よ 川奈

閉校に寄せて



伊東市長
小 野 達 也

ごあいさつ

相模湾を望む川奈の地に創立され、地域の皆様とともに歩んできた伝統ある伊東市立川奈小学校が閉校するにあたり、関係各位にご挨拶申し上げます。

明治6年の創立から147年の間、地域の皆様から愛される小学校として、「いるかの仲よし学校」や「遠泳大会」など、海を取り入れての校外学習や住民の皆様と連携した運動会を実施するなど地元の特色を活かした校風であり、そのような環境で学ばれた多くの卒業生が各方面でご活躍されています。

多くの方々に支えられ、親しまれる小学校でありましたが、近年の少子化により市内の小学校と中学校の児童生徒数は減少し、今後も減少傾向が続く見通しであり、学校の小規模化の進行や学校間の規

模の格差などの課題が顕著となり、将来の学校における教育環境、学校運営に様々な影響を及ぼすことが懸念されておりました。このようなことから、地域の皆様を始め、幅広い関係者からご意見等をいただき、令和元年8月に「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」を策定し、子どもたちのことを第一に考え、将来に渡ってより良い教育環境を提供するため、やむなく閉校の運びとなったところです。

しかし、この機会は、新たな歴史の始まりであると捉え、川奈小学校の素晴らしい校風で学んだ児童たちは、南小学校に移られても、多くの仲間と楽しく学校生活を送られるものと確信するところです。伊東市といたしましても次代を担う児童のため、より望ましい教育環境となるよう全力で努めてまいります。

結びに、この度の学校統合に伴い、保護者の皆様を始め、地域、同窓生並びに川奈小学校にゆかりのある方々に、多大なご尽力を賜りましたことに重ねて感謝と敬意の意を表しまして、ご挨拶とさせていただきます。



伊東市教育委員会 教育長
高 橋 雄 幸

「未来へつなぐ・川奈大好き」の想い」

創立140年を超える歴史、伝統を有する川奈小学校。川奈の子どもたちは、伊東の自然・川奈の海と共に育まれ、「川奈大好き」の想いを培い、川奈小学校を卒業した後も、保護者として、あるいは地域住民として、この「川奈大好き」の想いを次の世代の子どもたちへと繋いできました。

川奈小学校特有の教育環境である「海に学ぶ活動」が長年に渡って実施されてきましたのも、地域・保護者・学校がこの想いを共有し、一体となってその実現を目指してきたからこそであると考えており、教育に対する皆様の献身的姿勢には頭の下がる思いです。

川奈地区は、私個人としても思い入れの強い地域であり、教員としての生活をスタートした地でもあります。地域の皆様には大変お世話になり、

川奈での楽しい思い出が今でも思い出されます。教育長として就任した後も運動会や「いるかの仲よし学校」を拝見させていただきましたが、大漁節を一生懸命に踊る子どもたちを見ると、「川奈大好き」の想いが着実に受け継がれており、地域と協同した教育環境の大切さを改めて痛感させられました。

この4月から川奈小学校の子どもたちは、南小学校へ通うこととなります。歴史ある川奈小学校が閉校となることは、本当に寂しいことであり、川奈小学校にゆかりのある方々には身を切られるような思いであることと思います。しかし、培われた「想い」が途切れることはありません。これから先、子どもたちは様々な経験を通して大きく成長していくことと思います。その成長の中で、「川奈大好き」の想いや「川奈の子」としての誇りを胸に、自分らしさを遺憾なく発揮してくれると確信しており、教育委員会としても新しい学校での生活を全力でサポートしてまいります。

結びになりますが、これまでの川奈小学校の教育活動に多大なるご尽力を賜りました関係者各位に心より感謝申し上げます、閉校にあたっての挨拶とさせていただきます。



川奈区長

齋 藤 誠

閉校になるという知らせを聞いたとき寂しさと同時に悔しさが込み上げてきました。川奈小学校を卒業された多くの区民も同じ考えだと思います。まさか区長として川奈小学校閉校式に参加する日が、来るとは思いませんでした。

しかし今の子供たちの学びと、より良い学習環境は何かと考えた時、この結果を受け入れなければならないという思いが有りました。川奈小学校は教師、保護者、地域が子供たちの健やかな成長の為に、尽力して来た素晴らしい学校です。

川奈小学校での学びは今後も私たちが大切にしていかなければならないものと確信しています。

少人数できめ細やかな学習指導、「いるかの仲よし学校」をはじめ保護者や地域と協力しながら活動を進める学校行事、その素晴らしさを挙げればきりがありません。

川奈小学校は147年の歴史に幕を閉じますが、今後も地域のシンボルであり、川奈区民にとっての誇りです。最後になりますが、今まで川奈小学校を支えて下さった全ての方々へ改めて御礼申し上げご挨拶とさせていただきます。川奈小学校本当にありがとう。



伊東市立川奈小学校
PTA会長

前 島 泰

川奈小学校の PTA行事には、長い歴史の中で提案された様々な活動があります。6月には川奈海岸掃除を実施後「川奈海岸ドリーム体験」として、漁船による伊東沿岸クルーズ、カヌー体験、シュノーケリング、海の生き物の観察が実施されます。

7月には「遠泳大会」として、全校児童が技量に合った距離を選び、低学年や自信の無い児童は数十m、最長は1km近い距離を川奈海岸で泳ぎます。9月には「いるかの仲よし学校」として、水曜日から土曜日まで3泊4日間家族と離れて宿泊&通学します。これは、家庭・家族のありがたさ、集団生活での人間構築、災害訓練を主目的として実施されており、国から表彰もいただいています。閉校を迎えるにあたり、これらの活動を立案・検討・実現された往年の PTA会員様の、PTA活動に対する熱意と尽力に、敬意と感謝を申し上げたいと思います。また、活動の実現に必須であった、川奈の区役員・漁協・漁船・ダイバー・臨海学園のご協力にも感謝いたします。ありがとうございました。川奈小学校最後の PTA会長となる自分は、最後の卒業生となる息子と共に川奈小学校の思い出を後生に伝えていく所存です。

川奈小学校の PTA行事には、長い歴史の中で提案された様々な活動があります。6月には川奈海岸掃除を実施後「川奈海岸ドリーム体験」として、漁船による伊東沿岸クルーズ、カヌー体験、シュノーケリング、海の生き物の観察が実施されます。7月には「遠泳大会」として、全校児童が技量に合った距離を選び、低学年や自信の無い児童は数十m、最長は1km近い距離を川奈海岸で泳ぎます。9月には「いるかの仲よし学校」として、水曜日から土曜日まで3泊4日間家族と離れて宿泊&通学します。これは、家庭・家族のありがたさ、集団生活での人間構築、災害訓練を主目的として実施されており、国から表彰もいただいています。閉校を迎えるにあたり、これらの活動を立案・検討・実現された往年の PTA会員様の、PTA活動に対する熱意と尽力に、敬意と感謝を申し上げたいと思います。また、活動の実現に必須であった、川奈の区役員・漁協・漁船・ダイバー・臨海学園のご協力にも感謝いたします。ありがとうございました。川奈小学校最後の PTA会長となる自分は、最後の卒業生となる息子と共に川奈小学校の思い出を後生に伝えていく所存です。



伊東市立川奈小学校長

山 下 晃 広

学校教育目標「心豊かな 川奈大好き人間になる」

この目標は、令和2年度で24年目になります。川奈小は「海に学ぶ活動」を中心に様々な教育活動を実践し、これが「特色ある学校」を築き上げると共に、学校・地域の伝統として定着してきました。また、この目標の具現には、家庭や地域との協働なしには達成することはできません。その意味でもこの教育目標は、地域の教育目標でもあると考えます。

本年度もこの教育目標を継続し、より一層家庭や地域と連携し、海の行事や自主的な教育活動を推進していこうと、川奈小職員一同が一丸となって推し進めてきました。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、海の行事は中止を余儀なくされたり、様々な学校行事も縮小せざるを得なかったりしました。それでも、保護者や地域の方々との協力を最大限に得ることにより一つ一つの行事を見直し、工夫することで、「川奈海岸ドリーム活動」をはじめ、「いるかの仲よし学校」「チーム川奈フェスティバル」等、思い出に残る充実した活動となり、大成功を収めました。保護者や地域の方々との触れ合いや川奈小ならではの経験や体験を通して、子どもたちは川奈っ子としての「自信」や「誇り」を得ることができました。

川奈小学校147年の歴史は、こういった保護者・地域の方々との協働のもとに築き上げられたものです。その中で、子どもたちは伸び伸びと活動し、様々な体験を通して、多くの知識や充実感を得ながら、たくましく育ってきました。

川奈の地域で生まれ育ったこと、川奈小学校で多くの体験の中から学んできた「自信」を胸に、川奈っ子としての「誇り」を大切にしていってほしいと願います。



昭和59年度PTA会長

榎垣 功

令和2年度限りで南小と統合となり閉校になると聞き、川奈で生まれ育ち、川奈小の卒業生としては大変寂しい限りです。いろいろな思い出の中で一番大きな出来事は、小学校が現在地に移転した事です。65年前になります。当時は旧幼稚園にあり、生徒数も現在では想像出来ない程多くの教室が足りなくて、午前と午後に別れて授業が行われていました。新校舎は大きく立派で運動場も広く感激した事が思い出されます。次に印象に残っているのは30数年前にPTA活動として「いるかの仲よし学校」を始めた事です。初めての事で先生方と保護者が一丸となって取り組み、3泊4日の宿泊訓練ということで、初年度は2年生以上の生徒を小室山のユースホテルを利用し保護者が主体となって実施し無事終了出来てほっとした事が思い出されます。閉校が決まり改めて小学校の6年を懐かしく思い出しています。



平成4～5年度PTA会長

杉山 瑩 勲

受賞に巡り合う

「川奈小学校PTA(愛育会)が発足して」3年間の活動が終わるに当たって、平成4・5年度を振り返ってみますと、前任者が3年度に県P連から2年間の研究実験委嘱を受け中間発表があり、そして4年度は成果のまとめを行った。学校行事の定置網の見学や遠泳大会の安全対策を地域の方々と側面から協力をした事やPTA主催のいるかの仲よし学校では、遅ささと自主性、縦割りの人間関係、家庭生活の有難さ、親子でバケツでの稲作りの大変さや収穫の喜びなどを目標とし、期間中は全会員が携わり、また地域の方に講話や講師を依頼し目的達成に努力をした事などを発表しました。それらの活動が県P連に評価され、日P連から団体表彰を、その後県教委から3名が来校し、前記の事柄以外に児童の制服化・郵貯等の聴き取りがありました。5年度は120周年記念事業に取り組んでいる中、文部大臣表彰の吉報が入り、11月18日にニューオータニで秋篠宮様ご臨席の下で優良PTA文部大臣表彰を受けました。先輩方の繋がりや、地域の方々の児童の育成に惜しまない協力の現れた結果だと思っています。



平成12～13年度PTA会長

田中 智 海

この度、川奈小学校が閉校となるとの事、大変残念で、又、寂しい事と思っております。

私自身は、川奈小出身ではありませんが、3人の子供が、学ばせて頂き、沢山の思い出を作らせて頂きましたし、私もPTA活動を通して、多くの事を学ばせて頂きました。

平成12年13年とPTA会長を務めさせて頂きましたが、私共夫婦共に当地出身ではないにもかかわらず、会長を任せられ、不安な事もありましたが、先生方を始めPTA役員が温かくサポートして下さい、何とか勤めさせて頂きました。

特に、PTA主催の「いるかの仲よし学校」では、子供が楽しく活動する為には、親も一緒に楽しく活動する事が大事だ、と無茶な提案も致しましたが、役員みんな協力して、充実した運営が出来ました。私にとり、忘れ得ぬ時間を頂き、心より感謝いたします。





平成4～5年度校長
鈴木 勝彦

閉校式の日が近づいてくるほどに30年前の事柄があれもこれもと思い浮かんでくる。地域的にはいるか浜の埋立が始まり、川奈小学校は開校120周年を迎えようとしていた。子どもたちの学校生活は活気に溢れ、PTAの活動も文部大臣表彰を受け、県P大会発表も迎えようとしていた。

教育活動では、子どもたちを、子どもたちの活動を出るだけ地域に出すことに努めた。書き初めの作品は郵便局、農協、コミュニティセンターに展示、家族や地域の方々が訪れる機会となった。秋の祭りには子ども万燈が繰り出した。子どもたちの育てた草花のプランターは川奈駅を飾った。6年生は齋藤家旧宅をお借りして、明治の学校生活を模擬体験した。これらに教職員・PTA・地域の絶大の支援があったことはいうまでもないことであった。



平成22～24年度校長
関野 孝仁

川奈は父の実家があり、小学校の頃は毎年夏に、いとこ達と朝から夕方まで海で遊んでいました。その川奈小学校に平成22年4月に新任校長として赴任することになったことに不思議な縁を感じました。心躍る思いと共に、川奈での3年間の始まった日のことが、昨日のことのよう思い出されます。

当時のPTA文集『かわなっ子』を繰ってみますと、どの写真を見ても、子どもたち一人一人の表情がきらきらと輝いていて、一瞬のうちに当時の光景が目の前に広がってきました。子どもたちの笑顔は、学校行事に保護者や地域の方が「学校のためなら」と熱い思いで支援して下さっている賜物だと思います。当時の教育目標である、【心豊かな、川奈大好き人間になる】に迫っていたのだ、と改めて感じました。

川奈小学校の閉校は、心の中に大きな穴がぽっかりと開いてしまったようです。ふるさとを愛し、ふるさとを創る力を身につけた子どもたちは、今後も川奈の魅力を発信し続けてくれることと信じています。



平成8～9年度校長
村田 武

理想の教員環境

私にとって川奈小学校は特別な学校です。昭和42年、新任教師として川奈小学校に赴任した私は、今思えば、赤面するような未熟な姿勢で教師生活をスタートしました。

子供たちの事、仕事(ガラス担当)での失敗、宿直での出来事など振り返ればきりがありませんが、なにより保護者や地域の方々に助けられた事がなんと多かったことか…

今は亡き望月教育長としみじみと話した事がありました。「お互い、出発が川奈小で良かった。教師と保護者、地域が一緒になって子供を育てるという教育の原点を初めに体験することが出来たのだから。」と…

校長になって最初に赴任したのも川奈小学校でした。あの子供たちが親の世代になっていて、PTAとして色々協力してくれました。

県の指定研究において学校目標を「心豊かな川奈大好き人間になる」と定め、海と触れ合う学習をしました。全国(世界)で初めて6年生にスキューバダイビングを体験させたのも懐かしい思い出です。



杉 本 英 世

(昭和24年度卒業)

私の入学は75年前の4月だったと思います。私が川奈小学校の一番の思い出と思って居るのは学校の校庭に咲く桜の花です。大きな木で数本有りました。私の隣の蓮慶寺にもしだれ桜が有りこれも美しいものでした。しかし学校の桜は別物でした。花の量がすごく毎年入学時が待遠しかったです。学校庭はせまく走っていると向い側の校舎に着くのに5秒もかかりません。でも桜が咲くともっとせまく感じて、窓から見ても、家に帰る途中で校庭に出てもキレイで、毎日学校に行くのが楽しみでした。

それともう一つの思い出は同窓会です。私は学校は中高と行きました。しかし同窓会が有るのは川奈小学校の方達だけです。たった40人ほどの数だと思いますが、年に一回か二回会うのが楽しみです。集まると全員名前前で呼びません。もう本当の名前は忘れたんでしょうか。昔の子供の頃の呼名で話して居ます。時にはオメエ、ワレと言いながらカラオケをしたりゴルフをしたり楽しいです。最後になりますが長生きしてくれ。

宮 崎 純 和

(昭和40年度卒業)

川奈小学校が現在の場所に移転してきたのが、昭和30年5月、私がピカピカの一年生になったのは、それから5年後の昭和35年4月、運動場も狭く父兄が勤労奉仕で崖の部分埋め立て広い運動場が出来上がったのを記憶しています。

1年の時は女性の先生、2・3年の時は静岡大学を卒業されて2年目の若い男性の影山先生、放課後や休みの日には磯やてんま(小舟)で釣りに出かけた冬にはイルカ漁に参加したりと先生と一緒に楽しく遊び回ったことが思い浮かびます。

4年の時は男性の山本先生、昔話や先生自作のお話を聞いたのを記憶しています。

5・6年は男性の荻原先生で土曜になると山芋を掘ったり、山菜を採ったり、魚や貝を採ってきては同級生で飯盒炊爨をした楽しい思い出が甦ります。

当時はプールはなく夏の水泳大会は横磯に父兄がイカダで造った特設プールで泳いだのも楽しい思い出です。

6年間の思い出は半世紀以上経った今も鮮明に思い浮かびます。

昭和58年に新校舎となり、学び舎は変わりましたが、白壁、赤い屋根は当時の色のままで、帰省し川奈小を通過するたびに、当時の楽しい思い出が走馬灯のように思い浮かびます。

令和2年度で閉校となりますが私にとっては、いつまでも心に残る小学校です。

磯 崎 俊 治

(昭和33年度卒業)

閉校！我が母校が消える！学び舎の姿のみ残りで未来っ子の声も消える……。

昭和28年の入学式に爛漫と咲き誇り迎えてくれた、あの桜の木々達よ。花びらで作った首飾りの思い出が一番に多かった卒業文集。今は朽ちて見る影も無し。

でも鳥達が種を運び何処かの地で又、花と鳥が楽しく奏でている事でしょう。

入学記念写真をみると、私も父親も正面玄関の前で同じ光景です。違いは洋服姿と着物姿で歴史の長さの流れを感じます。

今の場所へ3年生の時に引越し、先生が人体標本を抱えて運んだ折に、女生徒達の驚きの声……懐かしく思い出します。

羽ばたき出でた卒業生達は、各地にてあの桜のごとく子々孫々に活躍され栄えておられる事でしょう。

生命の中に「ふる里」あり、「学び舎」あり、今は無き「級友」あり、川奈の未来っ子達に「希望」あれ！

稲 葉 明 子(杉 山)

(昭和42年度卒業)

仲良し同級生

私の同級生は、男女合わせて40人。とても仲良しで、まとまりのあるクラスでした。

当時は、スポーツや習い事に通う子供が少なく、体育館も無い時代でした。私達は、放課後や日曜日でも、声を掛け合い、運動場に集まり、サッカーやドッジボールなど、男女一緒に、日が暮れるまで駆け回り、仲良く遊んでいたのを覚えています。

卒業しても、大の仲良しです。各町内会館で同窓会、防波堤で二次会、スキー泊バス旅行(夜は町内別演芸大会)など、何度も集まり、その度に、川奈小時代の思い出話で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごして来ました。今年11月には、コロナ禍でなければ高尾山ハイキング同窓会でした。

今年度で、川奈小学校は閉校となりますが、私の人生で、今でもとても大切な同級生と、一緒に学び遊んだ、六年間の川奈小学校生活を、私は決して忘れません。



上 原 一 成

(昭和47年度卒業)

PTAの皆様、日々御苦勞様です。私は平成15年にPTA会長に任命されました。この年は、川奈小創立130周年という節目の年で有り、学校側より何か思い出に残る年にしたいですね、と早々に言われプレッシャーを感じた事を思い出します。一つとして創立より思い出に残る写真等、資料を集め、展示し、一般の方々に見学してもらったり。一つは、外部より講師を招き、講話をしていただいたり。又一つは、「いるかの仲よし学校」での、キャンプファイヤーにおいて、地元のお年寄りの方々を招待し、参加・見学をしていただいたり等。何かと関係者の方々の協力をいただき、どたばたと一年が過ぎたように記憶しています。時代の流れと言いましょうか。今年度で閉校となってしまうのは、大変寂しく、残念な気がしてなりません。諸先輩方が続けてこられた教育が、今までの子どもたちに大変良い影響を与えた事は、間違いなく、私も、その一員として携わった事を誇りに思います。

山 下 明

(昭和58年度卒業)

新校舎完成

私が小学4年生の時、木造の趣ある旧校舎での小学校生活が最後の年となりました。それは映画に出てくるような昔ながらの2階建ての校舎でした。忘れ物をした時の、暗くなってから学校は、お化けが出て来やしないか？と恐る恐る入った記憶もある、そんな校舎でもありました。

小学5年生の一年間は、校舎建築のため、プレハブの仮校舎で過ごしました。私たちの教室にはピアノがあり、昼休みには先生のピアノに合わせ、皆で歌ったりと、旧校舎の教室に比べて一回り小さかったですが、毎日にぎやかに楽しく過ごしました。

小学生最後の年となる6年生の4月からは、ピカピカの3階建ての新校舎で過ごしました。特に5・6年生は教室が3階で、ベランダからの景色を胸躍る思いで眺めたことを鮮明に覚えています。あれから36年が経過した今、新校舎ではないかも知れませんが、歴史ある川奈小学校ありがとう、そしてお疲れ様でした。

関 野 耕 一

(昭和53年度卒業)

昭和48年、体育館・プール・小運動場が完成した年に入学しました。新施設での6年間、様々な思い出が蘇ってきます。体育館では、体育の最中でも軍艦マーチが鳴り響くと、「イルカが入ったぞ」と友の声。皆で海の方を見ながら、放課後、港に行く約束をしたものです。舞台上での学芸会、家族、親戚、知り合いが見守る中、劇をしたり、合奏をしたりしました。祖母のモンペを借りて、水戸黄門の劇をやった時、祖母が喜んでくれたのを覚えています。小運動場では、缶けりをよくやりました。木の陰に身を潜めたり、体育館の裏に隠れたり楽しい時間でした。担任の先生が植え込みに隠れていて、蜂に刺される一幕もありました。プールでは、まだ、水の冷たい時期から水泳記録会の練習が遅い時には夜の7時頃までありました。練習後に食べる母のおにぎりの味が忘れられません。

6年間、川奈小でしかできない体験を数多くしました。当時は当たり前だと思っていたことも、今考えると、貴重な経験で人生に大きな影響を与えています。これからも色褪せない大切な思い出として、心の中に残っていくことと思います。

稲 葉 郁 美 (窪 田)

(昭和62年度卒業)

木造校舎を背にワクワクした気持ちと共に入学し、プレハブ校舎で暑い中過ごし、期待を胸に新校舎へと移り過ごした6年間は楽しく実りのある時間でした。毎年心待ちにする遠泳大会は沖まで漁船で行きスタートと同時に海に落とされ…それからは自分と戦いながらゴールを目指しました。完泳後の達成感と父兄が作ってくれたお味噌汁は格別でした。いるかの仲よし学校も当時は小室山ユースホテルに泊まり班別登校しました。今より期間は長く上・下級生と過ごした時間はとても実りあるものでした。当時の父兄・地域・先生方のご尽力は父兄・役員として関わらせてもらい改めて身にしみました。川奈小とは地域・父兄・先生方の温かい想いのもと存在する小学校だと強く思います。自分の子供達も川奈小に通い見守られながら沢山の体験ができたこと幸せに思います。閉校になりますが、川奈小精神がいつまでも絶えることなく根づいていてくれることを願います。



瀬戸 純也

(平成9年度卒業)

川奈小との思い出

この思い出を作成する為に同級生に相談してみた。いるかの仲良し学校・遠泳大会・修学旅行・JCサッカー大会・運動会等色々な行事からくだらない思い出が次々と出た。一つにまとめるのは難しいがその中でも遠泳大会は思い出深い。

川奈小伝統行事であり大会後に行われる PTAのBBQ(バーベキュー)は子どもにとって最大のイベントである。

川奈小で一緒に卒業した仲間はかけがえのない友人であり、閉校になるのはとても寂しいが仲間と川奈小の思い出話ができる事こそが、この学校のいいところである。

長い間お疲れ様でした。そしてありがとう川奈小学校。

星 野 三 智 (上 原)

(平成13年度卒業)

2000年9月24日シドニーオリンピックで高橋尚子選手が陸上女子で日本人初めての金メダルを獲得しました。運動会の入場の為グラウンドに整列していたところ、下級生のお父さんが携帯ニュースを見て教えてくれたのを覚えています。当時の運動会は区民体育祭と合同で行われていました。顔見知りの大人たちと一緒に運動会はとても楽しい思い出です。足がもつれ転ぶ大人が多いなぁと当時は思っていました。が今ではその理由がよく分かります。川奈小での6年間の生活で思い出といえば、いるかの仲良し学校・遠泳大会・ドリーム授業など、他校にはない行事の数々です。PTAの皆さんはじめ、両親、先生方そして地元の方々の協力があったからこそ経験できたこのイベントは大人になった今もとてもいい思い出で、懐かしく微笑ましく思います。地元へ帰ると今でも幼馴染と集り、小学校の時から変わらない関係を築いています。母校がなくなってしまうのはとても寂しいですが、かけがえのない存在と過ごすことができた川奈小をいつまでも誇りに思っています。

宮 本 祐 衣 (磯 川)

(平成10年度卒業)

川奈小での思い出は、やはり【海】での行事。

夏休みの始まりの合図の遠泳大会や、週に一度のドリームの課外授業は、学年の垣根を越えて経験できた、とても素敵な思い出です。

遠泳大会では、6年生は皆800mのコースを泳ぎました。「今年は流れが速く、1km泳いだのでは？」という話を聞いた時は、1km泳げる！と自信に繋がったことを覚えています。

ドリームの授業は、毎週楽しみにしていました。皆で何をするか考え、海に行き、学ぶ。過程も含めて、川奈小だからこそ経験できたことだと感じます。楽しすぎて、ランドセルを教室に忘れて帰宅してしまったこともありました。

「心豊かな川奈大好き人間になる」というスローガンのもと、学んだことは、大人になった今でも礎となり、川奈や海が大好きで恋しくなる、川奈大好き人間になったのだと思います。

川奈小学校の卒業生としての誇りを、いつまでも持ち続けていきます。

上 原 佳 奈 (齋 藤)

(平成15年度卒業)

どれだけ笑ったんだろう。そして、どれだけ泣いたんだろう。語りきれない日々がここにはあります。

川奈小といえば海。五感で感じてきた海。知っていて当たり前だった魚の名前を、先日息子に聞かれてはっとしました。お舟浜からいるか浜へ泳いだと伝えれば驚かされます。母となり、当時の当り前は当たり前でなかったこと。とても恵まれた環境の気持ちでいっぱいです。肝心なことは目に見えないんだと。ユーモア溢れる先生方に出会い、川奈の地と向き合う中で、自由にのびのびと毎日を送ることができたのは、家族や地域のぬくもりが私たちを見守ってくれてこそでした。

世界中を飛び回る将来を思い描いた学生時代。しかし今、不思議な縁でここ川奈で子育てをしています。一歩外へ出れば、皆が声をかけてくれる。そんな優しさで満ちた町がいつまでも続きますように。



上 原 力 也

(平成20年度卒業)

147年もの歴史ある学校の卒業生としていただけることを、光栄に思います。川奈小学校には、とても感謝していますし、たくさんの思い出があります。

川奈はとても小さい町で、僕が在学している時から全校100人未満の小さな小学校でした。だからこそ地域の方も含め、児童全員が家族のような友だちでした。そんな家族のような仲間たちとの運動会、サッカー大会、いるかの仲よし学校、他にもたくさんの行事、全てがはっきりと思い出すことができるくらい楽しい日々でした。

今思えば、僕が大勢の前で自分の夢「プロサッカー選手になる」ことを口にしたのは、川奈小学校の卒業式でした。だから川奈小学校は僕の原点です。たくさんの思い出がある、そんな川奈小学校がなくなってしまうのは少し寂しいですが、僕はそこで成長し、卒業できたことを誇りに思います。

改めて147年間、お疲れ様でした。

濱 野 真 裕

(平成25年度卒業)

私は2008年(平成19年)に入学しました。当時同級生は11人でした。少人数ということで、先生方との距離が近かったです。特に、黒沢校長先生にはとても仲良くして頂き、昼休みなどによく校長室へ遊びに行ったことを覚えています。また、山田先生は、私の入学と同時に来られた先生で、6年の卒業までおられたので、1番お世話になりました。

学校生活で印象に残った思い出は、行事の「いるかの仲よし学校」です。3日目の夜に皆でキャンプファイヤーをしたり、キャンプファイヤーの際に各班が披露する出し物の準備を友達と協力して考え、練習したりすることがとても楽しかったです。当時、私が考えた出し物では、事前をお願いして、ダンスの最後に、同級生のみんなや担任の山田先生、黒沢校長先生と一緒に踊っていただきました。みんな楽しそうで、企画した私も嬉しくなりました。

私の明るい性格は、川奈小学校で過ごした日々があってこそだと思います。閉校になってしまうことは寂しいですが他の学校には無い色々なことを教わり、感謝しています。ありがとうございました。

磯 川 陸

(平成23年度卒業)

川奈小が閉校すると聞いてとても複雑な思いになりました。非常に残念な気持ちと、やっぱり閉校してしまうのかと。

人数は少なかったけど楽しさと仲の良さはどこの学校にも負ける事はなかったと思います。学校での思い出は運動会・いるかの学校・遠泳大会など学校、PTA、地域の方々の協力のもと私達の為に一生懸命に取り組んでくれた事、今でも忘れません。特に運動会が一番の思い出があります。入場行進の時に校旗を持っての入場又4色が一致団結し優勝目指して行った応援合戦。どの種目も全員で参加し全員で応援した事、そして目標としていた優勝する事ができた事が一番の思い出となっています。この素晴らしい環境の中で多くの事を学ぶ事が出来た事に感謝し6年間共に学校生活を送る事が出来た仲間は私の宝物です。思い出が詰まった川奈小が閉校してしまうのはとても寂しい事ですが私達を見守ってくれた学校に「ありがとう」と言いたいです。

高 橋 命

(平成28年度卒業)

私が川奈小学校で過ごした中で、一番思い出に残っているのは「遠泳大会」と「海岸ドリーム」と「いるかの仲よし学校」です。

理由は二つあります。

これらの行事は、川奈小ならではの海での活動です。遠泳大会ではお舟浜からいるか浜まで泳ぎました。およそ800m。泳ぐコースには大勢の保護者が見守ってくれていました。このように、海という自然を身近に感じることができる環境で貴重な体験をすることができ、そしてその活動を円滑に進行することができるように保護者の方々や先生方が注意をはらってサポートをしてくれたからです。

今、私が小学校時代を振り返って思うことは、豊かな自然環境と地域を含めた保護者のみなさんのおかげでのびのびと楽しく過ごすことができ、人生において貴重な時間を体験することができたと思います。



川奈小学校147年の歩み

周年	年号・年月日	児童数	で き ご と
創立	明治 6 年 8 月 25 日		創立。福西四郎左衛門宅、慈眼院、恵鏡院、蓮慶寺で授業。
1	7 年	65	
2	8 年		
3	9 年		
4	10 年		
5	11 年		
6	12 年		
7	13 年		
8	14 年 5 月		学区改正。賀茂郡第54学区川奈学校区となり、川奈学校と称する
9	15 年		
10	16 年		
11	17 年		
12	18 年		
13	19 年		伊東学校河南分校となる
14	20 年		
15	21 年		
16	22 年 4 月		伊東学校より独立し、小室村立小学校となり、吉田、荻・十足の 2 分教室を有する
17	23 年		
18	24 年		
19	25 年	80	吉田、荻・十足と分離 小室村立川奈尋常小学校となる
20	26 年	80	
21	27 年	98	
22	28 年	102	
23	29 年	99	田方郡小室村立川奈尋常小学校となる
24	30 年	110	
25	31 年	126	
	32 年 1 月		小浦浜の民家を買入れ校舎とする 敷地 10 年間無代借入
26	4 月	133	
	33 年 1 月 29 日		高等科を併設し、川奈尋常高等小学校とする
27	4 月	176	
28	34 年 4 月 8 日	174	本校教室手狭につき、尋常科第 1 学年教室を慈眼院に分ける
	35 年 2 月 1 日		慈眼院内において教授せる第 1 学年生は、本校に引き移る
29	4 月	178	
30	36 年	175	小学校で国定教科書を使う
31	37 年	189	
32	38 年	181	
33	39 年	216	
34	40 年	220	恵鏡院内に分教場を置く
35	41 年 4 月	231	修業年限を尋常 6 か年、高等科 2 か年とする
36	42 年	236	分教場を慈眼院に移す
37	43 年	245	
38	44 年	264	
39	45 年 4 月	286	宮小路に新校舎落成 普通教室 7、特別教室 2、172 坪
40	大正 2 年	273	
41	3 年	297	
42	4 年	297	
43	5 年	330	
44	6 年	324	
45	7 年	324	
46	8 年	337	
47	9 年	364	
48	10 年	390	大正元年より昭和30年までの学校。
49	11 年	424	後に川奈幼稚園となった。
50	12 年 9 月 1 日	439	関東大震災。学校は罹災者の避難所となり、10月15日まで2部授業を行う
51	13 年	435	
52	14 年	435	
53	15 年 7 月 1 日	460	川奈小学校に川奈青年訓練所を併置
54	昭和 2 年	458	



明治32年小浦浜の民家を買入れ校舎とした。



大正元年より昭和30年までの学校。後に川奈幼稚園となった。



昭和5年度尋常科卒業生

55	3年	450		
56	4年	446		
57	5年	445		
58	6年	451		
59	7年 1月1日 4月	464	校舎改造 運動場拡張 職員住宅一室増築	
60	8年	498		
61	9年	482		
62	10年	481		
63	11年 4月	489	児童数増加のため、小浦青年会館を教場に当てる	
64	12年	469		
65	13年	479		
66	14年	476		
67	15年	458		
68	16年 4月	462	国民学校令により、小室村川奈国民学校と改称	
69	17年	460		
70	18年	444		
71	19年	611		
72	20年	535		
73	21年	490		
74	22年 4月 8月10日	396	学校教育法により、小室村立川奈小学校と改称 小室中学校を併設する 町村合併により、伊東市立川奈小学校と改称	
75	23年	412		
76	24年	446		
77	25年	463		
78	26年	449		
79	27年	437		
80	28年	436		
81	29年	424		
82	30年 1月14日 4月 5月27日 11月15日	427	市立川奈幼稚園が小学校地内に開かれる ヒラットに新校舎落成 静岡県川奈臨海学園、本校の養護学級となる 校舎正面沿い石垣・門柱完成	
83	31年 2月 4月	446		
84	32年 1月 4月	436	市立川奈幼稚園が旧小学校を改造して移る	
85	33年	453		
86	34年 11月11日	426	県健康優良校として表彰される	
87	35年	430		
88	36年 7月17日	398	校歌制定 校舎の北西に側溝新設	
89	37年	358		
90	38年	337		
91	39年	359	昭和38年度卒業生から国旗掲揚塔の寄贈を受ける	
92	40年	359		
93	41年	332		
94	42年	354		
95	43年	382		
96	44年	354		
97	45年	318		
98	46年	302		
99	47年	299		
	48年 1月6日 2月9日		小運動場完成 体育館完成	
100	49年 4月 7月	297		
101		328	プール完成 フラワー ブラボー コンクールにて日本植物園協会賞を受賞する(春花壇) フラワー ブラボー コンクールにて環境庁長官賞を受賞する(秋花壇)	
102	50年	225		
103	51年	224		
104	52年	328		
	53年 3月3日 4月	225	体育館渡り廊下を新設	
105				



昭和30年新校舎落成



昭和37年海岸沿いでのマラソン大会



昭和38年水泳訓練



昭和47年運動会



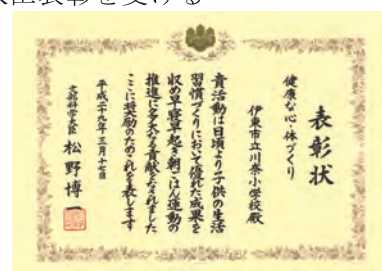
昭和48年フラワーボーコンクール
(FBC) 春優良校



昭和48年プール完成

106	8月31日	222	校舎等補修(伊豆東方沖地震災害復旧)	
107	54年4月	198	養護学級、県立東部養護学校川奈分校となる	
108	55年	186		
109	56年	183	体育館床・側溝・フェンス修理工事	
110	8月7日	161	新校舎建設に伴い仮校舎(プレハブ)建設	昭和57年プレハブ校舎
	57年	161	旧木造校舎取り壊し	
	6月	143	新校舎落成 落成式(19日) 花園造成	
	7月	141	運動場整地	
111	58年3月15日	131	玄関前西側通路舗装・門柱設置・遊具移動	
112	4月	132	排水溝補修・東門付近舗装	
113	8月31日	123	P T Aによる第1回「いるかの仲よし学校」開催	
114	59年	126	環境衛生活動優良校として表彰される	
115	8月8日	129	体育館東側霧除・軒裏及び運動場南側フェンス改修工事	
116	60年4月	128	体育館床・軒裏改修工事	
117	11月15日	117	運動場土留工事・体育館外側塗装工事	
118	11月30日	116	市研究指定発表「分かる算数の授業」～一人一人を生かす授業の展開～	
119	61年	129	川奈幼稚園園舎改築のため教室貸与(1年間)	
120	62年	128	児童会の海岸清掃等の美化活動により県環境衛生大会において表彰される	
121	8月25日	128	全国P T A連絡協議会より表彰される	
122	63年	117	児童会食品容器環境美化協会全国表彰される	
123	9月13日	107	県P T A連絡協議会研究実験委嘱P T Aとして発表	
124	平成元年2月14日	93	プール全面塗装・運動場排水設備・スプリンクラー設置・小運動場斜面土留	
125	4月	82	川奈漁協より水槽(240×60×60)寄贈	
126	2年	85	運動会当日、創立120年記念式典を挙げる	
127	3年4月1日	92	P T A文部大臣表彰を受ける	
128	4年	92	体育館裏側溝改良工事	
129	10月	90	川奈小学校創立120周年記念誌「川奈のあゆみ」発刊	
130	11月	89	体育館バスケットゴール設置	
131	5年2月1日	85	雲梯設置・体育館緞帳改修工事	
132	2月25日	82	金銭教育研究発表(平成6・7年度 静岡県貯蓄推進委員会指定)	
	4月	85	市指定研究発表・環境教育に取り組む(平成7・8年度伊東市教育委員会指定)	
	8月	92	県推進事業ドリムスクール「海に学ぶ学校」に取り組む(平成9・10年度)	
	11月	92	給食室改修工事	
	12月1日	90	プール全面塗装・水漏れ修理	
	8年4月	82	トイレ改修工事	
	11月1日	85	創立130周年記念講演会(「川奈の歴史」加藤清志氏)を開催する	
	9年4月	89	県健康推進優良校として表彰される	
	10年4月	85	保健室空調設備工事	
	8月	89	フラワー ブラボー コンクールにて優秀賞を受賞する	
	10月25日	82	校舎周辺樹木伐採	
	11年4月	85	給食室改修工事	
	12年2月	92	プール全面塗装・水漏れ修理	
	4月	92	トイレ改修工事	
	13年4月	85	創立130周年記念講演会(「川奈の歴史」加藤清志氏)を開催する	
	14年4月	89	県健康推進優良校として表彰される	
	8月	85	保健室空調設備工事	
	15年4月	89	フラワー ブラボー コンクールにて優秀賞を受賞する	
	5月	82	校舎周辺樹木伐採	
	8月	85	給食室改修工事	
	10月8日	92	プール全面塗装・水漏れ修理	
	16年2月	92	トイレ改修工事	
	4月	85	創立130周年記念講演会(「川奈の歴史」加藤清志氏)を開催する	
	6月	89	県健康推進優良校として表彰される	
	11月	85	保健室空調設備工事	
	17年4月	89	フラワー ブラボー コンクールにて優秀賞を受賞する	
	9月8日	82	校舎周辺樹木伐採	

133	18年 4月 6月 1日	90	海岸清掃の取組が静岡県河川協会会長賞として表彰される
134	19年 4月 11月 9日	82	市指定研究発表・研究主題「自信をもって意欲的に学ぶ子」 (平成18・19年度伊東市教育委員会指定) P T A全国協議会会長表彰を受賞する
135	20年 4月 8月 9月20日 12月 4日	80	体育館・校舎雨漏改修工事 川奈小運動会 川奈区との合同でなく単独で開催する 静岡県教育公務員弘済会教育実践論文「心豊かな川奈大好き子の育成」が最優秀賞を受賞する
136	21年 4月 12月17日 22年 2月16日	73	体育館補修工事(地震による被害) はごろも教育研究奨励賞「学校賞」を受賞する
137	4月 7月22日	75	静岡県教育公務員弘済会奨励金「地域・家庭・学校の連携」
138	23年 4月 6月22日 8月24日 9月21日 24年 3月29日	72	東日本大震災の影響で、海で行ってきたドリーム学習を学校で行う 海岸愛護知事褒賞を受賞(県庁にて受賞式 関野孝仁校長、山田みづほ教諭、上原康平、高橋更紗参加) 台風15号により、児童玄関の校章が落下する 森の運動場の木倒れる 給食メニューコンテスト関東農政局長賞を受賞する(栗田総括農政業務管理官来校)
139	4月 8月22日 25年 3月 8日	58	校内放送設備入れ替え 森の運動場滑り台修理、タイヤ登り撤去
140	4月 7月23日 9月 2日 12月	65	パソコン室エアコン設置 東小学校との親子給食開始 プール補修塗装工事
141	26年 4月 6月 6月21日 7月 27年 3月	62	運動場東門付近フェンス改修工事・プール西側上部フェンス取付工事 教室扇風機設置工事 静岡県教育公務員弘済会教育活動奨励賞を受賞 国土地理院地殻変動G P S 観測機器設置工事
142	4月 8月25日 12月 4日 12月24日 28年 2月 3日 3月25日	51	体育館LED照明取り替え工事、体育館天井落下防止工事 伊東市教育委員会指定研究発表会「自信をもって意欲的に学び合う子」 体育館ガラス飛散防止フィルム貼付工事 教室等網戸設置工事 体育館床面改修工事
143	4月 8月31日 29年 3月17日	48	伊東市学校給食センターによる給食開始 「優れた早寝早起き朝ご飯運動推進」文部科学大臣表彰を受ける
144	4月 5月18日 7月26日 8月23日	34	校舎内ガラス飛散防止フィルム貼付工事 防犯カメラ取付工事 階段壁塗装
145	30年 4月 5月 9日 11月16日	32	職員玄関外犬走り撤去工事 体育館通路ブロック塀補強工事
146	令和元年 4月 8月 9月	30	普通教室エアコン設置 台風15号により、体育館海側外壁・体育館入り口天井落下のため補修工事
147	2年 4月 6月 1日 3年 3月21日	20	入学式実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止により2ヶ月休業措置のため) 伊東市立川奈小学校閉校式



思い出の行事



昭和21年運動会



昭和40年代後半遠泳大会



昭和47年春花壇の作業



昭和48年ぴかぴかの体育館で学芸会



昭和62年遠泳大会



平成元年運動会



平成2年 5.6年生キャンプ





平成4年バケツ稲作り



平成5年120周年運動会



平成7年おたのしみ給食



平成5年マラソン大会



平成7年宿泊訓練



平成14年よさこい(諏訪市海の家にて)



平成16年いるかの仲よし学校



平成18年シュノーケリング教室



平成19年海岸ドリーム



令和元年いるかの仲よし学校キャンプファイヤー

みなみ小学校でも、たくさん
ともだちをつくりたいです。

一年 菅野明星

川奈小学校は、海の行事が
たくさんあって楽しかったです。

六年 井端横之介

チームかわなフェスティバルの
よさこいがたのしかったです。

一年 飯塚惺来

かいがんドリームで、さかなを
いっぱいさわったことが思い出です。

二年 今井琉果

この六年間、海の行事が
とても楽しかったです。

六年 高野史音

いるかの仲よし学校のカシーヤ
キャンプファイヤーがよかったです。

二年 飯塚誌成

私の夢は韓国で働く事です。
その為に私は、韓国語を勉強します。

六年 秋田愛乃

川奈大

伊東市立



川奈小には、色々な海の行事が多くて、
とても楽しかったです。

六年 前島直翔

六年間、同じ学校に通えて
よかったです。川奈小ありがとう。

六年 齋藤月来

川奈小は、年齢関係なく仲が良くて
協力できる、すごくいい学校でした。

五年 工藤杏奈

私の一番の思い出は海岸ドリームです。
川奈小ですごせて本当によかったです。

五年 齋藤愛紗

美容師になるために、川奈小で
学んだことを生かしていきたいです。

五年 二木音心

「りん車がとくになりました。
うしろにすすむのをがんばりたいです。」

二年 漆畑 恵

川奈小学校に来ていじりかたでなけれど、
みんなやってくれてほっとしました。

五年 笠井 柊

しょうろいは、会社員になりたいです。
しごとがたのしそうです。

たいいくでとびばをがんばりたいです。

一年 笠井 真

しょうろいは、まんが家になって
絵がうまくなりたいです。

二年 齋藤 志穂

カマキリをいっぱいみつけて、
校長先生といっしょにどだてたよ。

一年 鈴木 拓斗

川奈小学校で日本のことが
たくさん学べてよかったです。

六年 ウマール

「一番がんばった事は、勉強です。
しょうろいは野球せん手になることがゆめです。」

三年 秋田 李玖斗

転校してきたけど、
いるかの仲よし学校が楽しい思い出です。

三年 山下 百合花

しょうろいのゆめはジャニーズです。
キンプリがかっこいいからです。

三年 井端 琉多朗

川奈小学校で色々なことを学ぶことができました。
ありがとうございました。

六年 笠井 翼

ケーキ屋さんになって、おいしい
ケーキを作りとどけたいです。

三年 笠井 虹河

川奈小で、なわとびが上手になって
楽しい思い出ができました。

四年 高野 翔

大好き！
川奈小学校
2021.3

最後のいるかの仲よし学校

令和2年9月4日







◇川奈小学校閉校式実行委員会
実行委員長 宮崎雅薫
実行副委員長 山下晃広

◇閉校式典・記念行事実行部会
部長 上原浩志
副部長 道下幸夫
齋藤 誠
磯川昌義
井端正徳
菅野 宗
上原勝志
太田理恵

◇記念誌・記念品製作部会
部長 前島 泰
副部長 上原直枝
宮下芳明
井端宣彦
今井真人
関野 優
磯川義幸
井端 敏
濱村佳世